

令和4年度

気象研究所研究成果発表会

気象・地象・水象のメカニズムに迫る —仕組みを理解し、予測につなげる

日本では近年も、台風、線状降水帯による豪雨災害、地震、火山噴火といった自然災害が発生しており、防災・減災に向けた対応が重要な課題となっています。

今回の研究成果発表会では、これら顕著現象の発生メカニズムの理解に向けた、最新の研究の動向をご紹介します。

2023

1月21日[土]

13:30-16:30

発表題目

開会の挨拶（気象研究所長 松村 崇行）

1 線状降水帯のレビューと今年度実施した集中観測の報告
台風・災害気象研究部 部長 加藤 輝之

2 線状降水帯の機構解明と予測技術向上に向けた研究の進捗
気象観測研究部 部長 瀬古 弘

3 プレート境界大地震の発生メカニズムの理解に向けて
地震津波研究部 研究官 野田 朱美

4 トンガで発生した火山噴火による潮位変化
応用気象研究部 室長 高野 洋雄

開催方法：オンライン開催

お申込みURL

<https://www.mri-jma.go.jp/Topics/R05/050121/Happyoukai2022.html>

どなたでも無料でご参加いただけます。上記URLから事前登録をお願いします。



問い合わせ先

気象庁気象研究所企画室 つくば市長峰1-1

TEL: 029-853-8535

主催 | 気象庁気象研究所

協力 | (一財) 気象業務支援センター

後援 | 地球ウォッチャーズ—気象友の会—